

カーボンニュートラルや多発する自然災害への対応として森林行政の重要性が増しています。一方で本市の私有林・市有林は間伐遅れの森林が多く、森林整備の推進が必須となっているほか、道産木材の促進や担い手育成、老朽化が進む自然歩道の対策等、本市が取り組むべき課題は多い状況です。

みどりの推進部では、森林行政を計画的かつ効果的に進めるため、今後100年を見据えた森林の将来像や、施策の方向性を示す「(仮称)札幌市森林基本方針」を策定することとし、検討を開始したところです。策定にあたっては、緑の審議会における報告を行ってまいります。

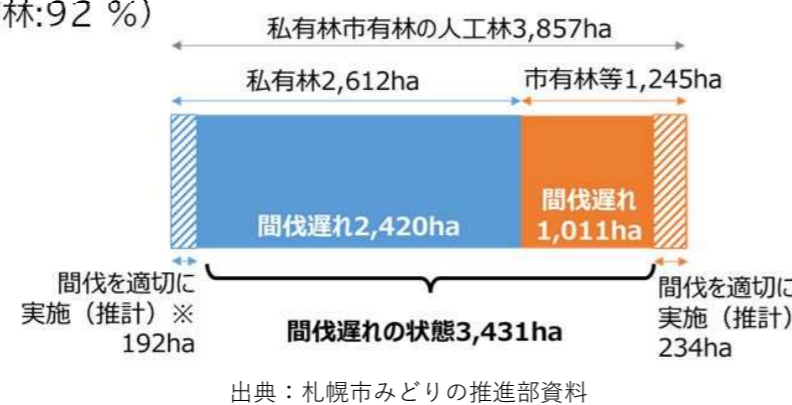
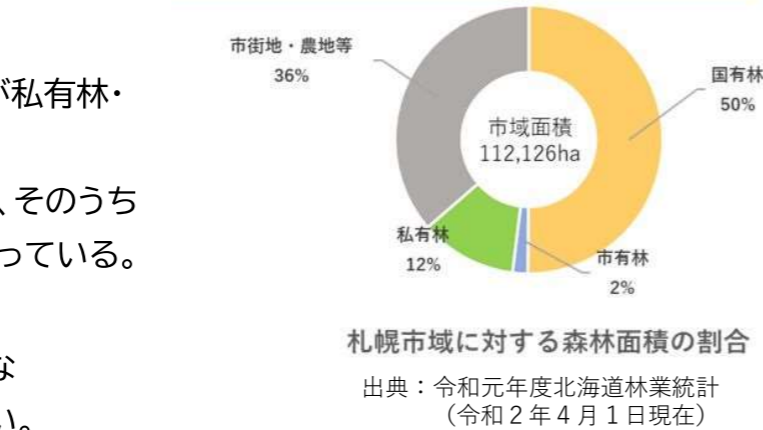
## 1. 森林の現況と社会的動向

### (1) 札幌市の森林の現況・課題

- 市域の64%が森林で、そのうち21%が私有林・市有林(⇒札幌市が担当する森林)
- 私有林・市有林の25%が人工林であり、そのうち75%が51年生以上の木材利用期に入っている。

#### 【課題】

- 森林の重要性が高まる一方で、全市的な森林の将来像、森林整備の方向性がない。
- 人工林の間伐遅れ(市有林:81%、私有林:92%)
- 森林整備の担い手不足
- 老朽化が進む自然歩道等



### (2) 社会的な動向・国内外の動き

- SDGs、2050年カーボンニュートラル等、国内における森林や木材に関する重要性は近年急速に高まっている。
- 森林経営管理法の施行(H31)によって市有林私有林の適切な管理(間伐遅れの人工林の整備等)が義務付けられ、また私有林の所有者は、その管理を市に委ねることも可能となった。
- 森林環境譲与税の導入(H31)によって森林整備や木材利用の促進に必要な財源が確保された。
- 森林・林業基本計画の改正(R3)、木材利用促進の法律改正(R3)など、国内における森林施策を進める体制が強化されている。

### (3) 本市の動き

- SDGs未来都市、ゼロカーボンシティ宣言(R2)
- 第4次札幌市みどりの基本計画(R2)、札幌市気候変動対策行動計画(R2)の策定により、森林の間伐や木材利用などの施策を促進

林政に取り組む必要性が高まっている

法制度、財源等の国の仕組みが整う

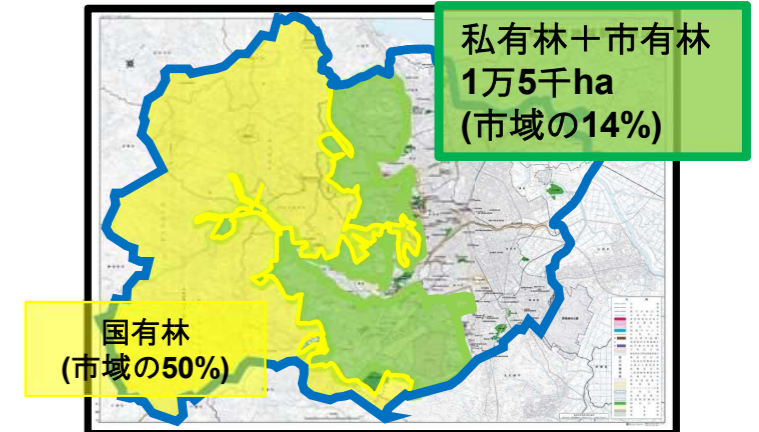
「(仮称)札幌市森林基本方針」の策定

施策の展開

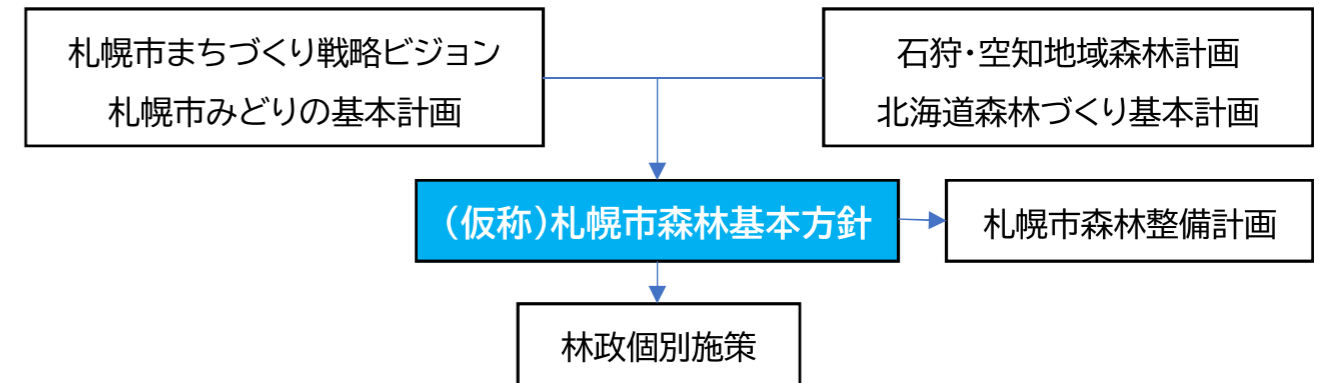
## 2. 方針の概要

### (1) 対象

- 森林整備(市内の私有林、市有林)
- 林業事業者の担い手確保、育成
- 木材利用の促進、普及啓発
- 自然歩道(登山道)等の管理



### (2) 体系イメージ



### (3) 方針の期間

おおむね10年(必要に応じて改定)

### 参考: 森林整備と木材利用のサイクル



(4)方針における検討内容(予定)

<1. 森林の多面的機能の発揮と持続可能な森林整備に関する検討>

現状

- 間伐未実施の人工林が多く、森林機能を発揮できていない。材としては利用期を迎えている。
- 小規模な私有林が多い。⇒森林経営計画(従来の森林整備計画)策定が進まない。
- 森林経営管理制度の開始やウッドショック等、社会情勢の変化

検討の主な視点

- 人工林経営と針広混交林(天然林)化の判断
- 森林経営計画または森林経営管理制度による森林整備の施策展開
- 広葉樹人工林施業挑戦の妥当性とリスク



搬出木材(市有林)

<2. 林業担い手の育成・確保に関する検討>

現状

- 林業従事者が不足
- 本市は林業の基盤がない都市

検討の主な視点

- 安定的な事業発注と、異業種からの参入等様々な事業の検討



森林整備(私有林)

<3. 道産木材利用と普及啓発に関する検討>

現状

- 法改正により、木材利用は脱炭素に資するものと明確化され、利用推進が求められている。
- 高層建築物でも木造が可能となる等、技術が向上している。

検討の主な視点

- 公共施設および民間施設における道産木材利用促進



<4. 自然歩道、市民の森等に関する検討>

現状

- 自然歩道8ルート(藻岩山、円山、手稲山等)、市民の森6か所(西野、盤溪、白川等)
- 施設の老朽化等による維持管理の負担大

検討の主な視点

- 登山道の維持管理のあり方
- 市民の森のあり方



自然歩道(円山)

3. 方針策定における検討とスケジュール

(1)有識者会議の設置

林学・林業に関する専門性が高いため、学識経験者・林野庁系官庁職員6名で構成する会議を設置する予定です。  
・「(仮称)札幌市森林基本方針策定に関する有識者会議」

委員6名の構成	
有識者	(林政、担い手)
有識者	(施業、広葉樹施業)
有識者	(木材)
有識者	(道の林業計画)
有識者	(普及啓発)
有識者	(登山道)

(2)緑の審議会

方針の検討に合わせて報告をさせていただきます。

(3)想定スケジュール

令和4年4月	有識者会議(第1回): 現況、課題説明、調査事項の確認
5月	有識者会議(第2回): 専門分野に関する聞き取り
6月	有識者会議(第3回): 方針素案の検討
7月	緑の審議会: 方針素案に関する報告
8月	有識者会議(第4回): 方針案の検討
9月	庁内議論(企画調整システム)
12月	緑の審議会: 方針案に関する報告
	市議会への報告
令和5年1月	パブリックコメント
3月	方針策定